

子宮頸がん

HPV予防接種

子宮頸がんは、女性の子宮の入り口にできるがんで、日本では年間約1万人が新たに診断され、約3千人が亡くなっています。近年、妊娠・出産を控えた20～30代で子宮頸がんを発症する人が増えており、中には発見が遅れて子宮を摘出せざるを得ない方もいます。

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染が原因です。HPVは男性にも女性にも感染するありふれたウイルスで、性交渉によって感染します。感染しても、90%の人は免疫の力でウイルスが自然に排除されますが、10%の人ではHPV感染が長期間持続します。感染が持続した後に自然治癒する人もいますが、一部の人は異形成とよばれるがんの一步手前の状態を経て、数年以上をかけて子宮頸がんを発症します。

子宮頸がんは予防できる

子宮頸がんの多くは、HPV感染を防ぐ「ワクチンの接種」によって予防できます。

HPVワクチンは予防接種法に基づき定期接種で、小学校6

年生から高校1年生相当の女子は、公費（無料）で接種することができます。

ワクチンはHPVの感染を予防するもので、すでに感染した細胞からHPVを排除する効果は認められません。したがって、初めての性交渉を経験する前に接種することが最も効果的です。

HPV予防接種を早期に取り入れたオーストラリア・イギリス・米国・北欧などの国々では、HPV感染や異形成の発生が激減しています。

HPV予防接種後に見られる主な副反応としては、発熱や接種した部位の痛みや腫れがありますが、注射時の痛みや不安のために失神を起こした事例も報告されているため、接種後は30分程度安静にする必要があります。

HPV定期予防接種の積極的勧奨差し控えについて

HPV予防接種後に慢性的な痛みや運動機能の障害など『多様な症状』が報告されたことから、現在、定期接種の対象者へ個別に案内することを見合わせています。

『多様な症状』とワクチンとの因果関係については国内外で

いんぷおめーしょん

情報蔵

information

多くの解析が行われています。平成29年11月の厚生労働省専門部会では『多様な症状』とワクチンとの因果関係を示す根拠は

報告されておらず、これらは「機能性身体症状（検査上の異常や所見が見つからず原因が特定できない状態）」と考えられるとの見解が発表されています。

がん検診も忘れずに

予防接種だけでは全ての子宮頸がんを防ぐことはできません。ワクチン接種を受けた方も、20歳になったら必ず2年に1度は子宮頸がん検診を受けましょう。

定期的に検診を受ければ、異形成やごく早期のがんの段階で発見可能で、経過観察や負担の少ない治療で済むことも多いのです。

HPVワクチン接種やがん検

診の日程、受けられる場所等、詳しくは保健センターへお尋ねください。

☎32-2411 内線192

（参考）

厚生労働省ホームページ「ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/>

日本産科婦人科学会ホームページ「一般の皆様へ」

http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=4

しょうぼう

消防車両などの緊急走行に対するご理解を

消防車両や救急車両は、一刻

も早く火災や事故などの災害現場に急行して消火活動や救急・救助活動を行い、被害を最小限に抑え、応急処置を行い、急病人などを速やかに病院へ搬送しなければなりません。

このため、消防車両などは緊急時に迅速に走行する必要がありますので、道路交通法では「緊急自動車」として、一般の車両よりも優先して走行することが認められています。

消防車両などの円滑な緊急走行のために皆さん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

《消防車両などがサイレンを鳴らし、赤色灯を点滅させて緊急走行し、接近してきた場合》
・周囲の状況に配慮して、速やかに道路を譲るか、交差点を避

戸籍の窓

12月16日～1月15日 届け出分

お誕生おめでとう
ございます

高橋 咲希ちゃん 12/27 成明さん

お悔やみ
申し上げます

吉田 芳松 さん	12/21	95歳
窪田千鶴子 さん	12/25	87歳
和泉田 茂 さん	1/4	94歳

ご厚志ありがとう
ございました

妹背牛町社会福祉協議会

■ 1区 藤井 久子 様
夫 藤井 将博 氏 死去に際して

■ 1区 和泉田幸子 様
夫 和泉田 茂 氏 死去に際して



けて車両を道路の左側に寄せて一旦停止してください。

・自転車で乗っている方や歩道のない道路を歩いている方は、速やかに道路を譲ってください。

・消防車両などは赤信号の交差点に進入する場合、事故防止のため横断歩道手前や左右が見通せる位置で安全確認を行います。消防車両などの優先通行にご協力ください。

・幅員の狭い道路などで停車する場合は、消防車両などの通行に支障がないようご協力ください。

・消防車両などは緊急走行時にサイレンの吹鳴などが法律で義務付けられていますので、夜間などのサイレン音に対してご理解とご協力をお願いします。

けいさつ

冬型事故の増加について

・この時期、スリップなどの冬型事故が多発しています

・急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルなどの「急」の動作にご注意を

・日没が早く、歩行者の方は夜光反射材の活用を

暴風雪の対策は大丈夫ですか？

・冬場は、こまめな車両への給油や携帯電話の充電を

・遠出の際は、車内にカイロ、毛布、防寒着、スコップなどの積載を

・【重要】暴風雪など荒天時、不要不急の外出は避けましょう
・途中、暴風雪に巻き込まれたらコンビニ、道の駅などへ避難

を

・立ち往生の際はエンジンを切り、体を濡らさず、救助を待ちましょう

・家庭でも懐中電灯、ポータブルストーブ、ガス調理可能な食品の準備を

除雪機使用時の事故防止について

・この時期、家庭用除雪機の事故が多発しています

・点検や整備の際は、必ずエンジンを止めましょう

・除雪機を使用する際は玉砂利まで飛ばして人や車を傷つけないように



ねんきん

年金生活者支援給付金制度に便乗した詐欺にご注意ください

昨年10月より始まった年金給付金制度に便乗し、厚生労働省、日本年金機構または市区町村の職員を名乗るものから、「年金生活者支援給付金の振込口座が使えないため、新しい口座番号、暗証番号、マイナンバーを教えしてほしい」という不審な電話がかかってきた事例が報告されています。

厚生労働省および日本年金機構では、電話でお客様の口座番号、暗証番号、マイナンバーなどを聞き取れることはありません。このような電話があっても、口座番号などの個人情報をお答え

ることのないようご注意ください。

ご不明な点などございましたら、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

付加保険料制度について

付加保険料制度は、国民年金の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。

付加保険料を納めるためには、申し込みが必要であり、申し込みをした月分から付加保険料を納めることとなります。

お手続きをご希望の方は、住民課住民グループまたはお近くの年金事務所にお申し出ください。